

アンナ・バース特別ワークショップ

「BODY + MEMORY」 ver.2

大野一雄舞踏研究所にて昨年 11 月に引き続き、アンナ・バースのワークショップを開催します。

日時： 2018 年 8 月 24 日（金） 20:30～22:00

会場： 大野一雄舞踏研究所

参加料： 2,000 円

参加資格は問いません。去年参加されていない方も大歓迎です。通訳付き。

お申込み： info@kazuoonodancestudio.com まで、お名前と参加人数をお知らせください。

大野一雄舞踏研究所で 2 回目となるこのワークショップでは、前回と同じく、からだと記憶の関係について探っていきます。私達の記憶は、絶え間なく変化していて、記憶と忘却の間で常に揺れ動いています。この幾重にも折りたたまれた力は、私達が空間と時間の中でどう動くかということと密接な関係があるようです。重力、中心点、個々のからだ、集団のからだ、空間、時間にフォーカスします。

～アンナ・バース



photo: Klaus Wiesner

大野一雄舞踏研究所より

アンナ・バースの去年のワークショップでは、多くの参加者の方が、自分のからだの新たな可能性に拓かれる様子が見てとれました。前回参加されていなくても、踊りが初めてでも大歓迎です。見知らぬ自分と出会う時を過ごしてみませんか？

アンナ・バース略歴

ダンサー、教師、“DanceArt Laboratory Berlin”のアート・ディレクター。ニューヨークにて、アルウィン・ニコライ、マレー・ルイスにモダン・ダンス、即興、創作を習い、1994 年から 1999 年まで、大野一雄舞踏研究所にて大野一雄、大野慶人に師事、舞踏を深める。即興と舞踏の交わるところで、自身が“Dance Concrete”と呼ぶ、現実の手触りを大事にするダンス、からだや感覚との細やかな関係を取り結ぶダンスを育んできた。存在のリアリティ、からだの可能性、そしてその記憶との絡み合いを常に追求することが基礎となっている。数あるソロ作品やコラボレーションには、特定の場を契機としたパフォーマンスも多く、場の内と外を使った 12 時間の作品がある。